

庁舎整備に関する基本方針

■ 庁舎整備に係る基本理念

府中市新庁舎の基本理念

(協議会の協議内容や市民アンケート結果等を踏まえた修正案)

- 開かれた、市民に親しまれる庁舎
- ユニバーサルデザインに対応した庁舎
- 環境共生型の庁舎
- 経済性・耐久性を考慮した庁舎
- 市民サービス・事務効率の向上を目指す機能的な庁舎
- 安全・安心な暮らしを支える庁舎
- 市民生活の総合的支援を図る、誰もが利用しやすい庁舎
- 業務の可変性に柔軟に対応できる庁舎
- 効率的で情報化に対応できる庁舎

府中市新庁舎のあるべき姿とは？

⇒整備手法を決める上での指標となる

■庁舎整備に係る基本方針と機能（素案）

○開かれた、市民に親しまれる庁舎

- ・ 誰もが気軽に利用できる施設であることを基本に、市民が日常的に集い、憩い、ふれあい、学び、政策を創造していく庁舎を目指します。
- ・ 市民と行政の情報の共有化、市民の政策形成への参画や協働によるまちづくりを実現する機能を確保するなど、市民とのパートナーシップに根ざした住民自治との連携や協働を推進していく庁舎を目指します。

○ユニバーサルデザインに対応した庁舎

- ・ 高齢者、障害者に対するバリアフリーはもとより、子どもや外国人等を含めたすべての人が利用しやすいユニバーサルデザインを基本とした施設とします。

○環境共生型の庁舎

- ・ 世界規模で地球温暖化防止対策への取組が進む今日、ライフサイクルコストを見据え、省資源・省エネルギー化と長寿命化を重視した仕様や構造、設備システムとすることで、CO₂排出削減はもとより環境負荷の低減を図る庁舎を目指します。

○経済性・耐久性を考慮した庁舎

- ・ 財政に与える影響をできるだけ抑えていくために、できるだけ経費を節約し、施設の長寿命化、維持管理の容易さ、将来必要となる改修への対応、設備更新への対応などの工夫により、長期的な経費を軽減できる、経済効率の高い庁舎を目指します。

○市民サービス・事務効率の向上を目指す機能的な庁舎

- ・ 市民にとってわかりやすく、利用しやすい施設であることはもとより、職員にとっても市民サービスの提供や政策立案のために、IT等の有効活用を含めた効率的な執務環境を目指します。

○安全・安心な暮らしを支える庁舎

- ・ 日常的に市民が利用する施設として、安全かつ安心して使用でき、防犯性にも配慮した庁舎を目指します。
- ・ 免震構造・制震構造などの検討を行い、十分な耐震性能を備えた施設とします。

○ 市民生活の総合的支援を図る、誰もが利用しやすい庁舎

- ・ 市民活動スペース（町内会自治会連合会等の活動ができる場、行政と連携したNPO 活動や、ボランティア活動が行える場）市民による相談スペース（行政相談のみならず市民が市民に相談（NPO やボランティアが主催する各種相談など）できる場）等の確保を図ります。

○業務の可変性に柔軟に対応できる庁舎

- ・ 敷地利用、建物配置、空間構成、機能配置、さらに備えるべき設備機器などにおいて、将来のさまざまな変化要因に対応できるフレキシビリティの高い庁舎を目指します。

○効率的で情報化に対応できる庁舎

- ・ 進展する高度情報化社会の中、市民サービス向上と行政事務の効率化を図るため、IT等を有効活用し、高度なセキュリティ対策と個人情報の保護対策が確保された庁舎を目指します。